日産自動車、「第37回 日産 童話と絵本のグランプリ」大賞作品を出版

全国の公立図書館などに出版作品を寄贈

日産自動車株式会社　　2021年12月15日

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠）は、「第37回　日産 童話と絵本のグランプリ」で大賞を受賞した、数井 美治さんの童話 『ながみちくんがわからない』とだるま森さんの絵本『マロングラッセ』を、12月15日にビーエル出版株式会社より出版します。両作品は、書店やインターネットを通じて販売されます。

「第37回　日産 童話と絵本のグランプリ」（一般財団法人大阪国際児童文学振興財団主催）は2020年度に実施されました。数井 美治さんの童話 『ながみちくんがわからない』は、童話部門で2,283編の応募作品の中から、だるま森さんの絵本『マロングラッセ』は、絵本部門の413編の応募作品の中から、それぞれの部門の大賞に選ばれました。また、今回の出版にあたり、 『ながみちくんがわからない』には、同グランプリ第26回、第27回、第31回、第32回絵本部門の優秀賞を受賞した、奥野 哉子さんの挿絵を配しました。

日産自動車は、社会貢献活動の一環として、アマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストである同グランプリに第1回（1984年）から協賛しています。才能ある新進作家の育成をサポートするとともに、子どもたちに良書をお届けすることを目的とし、37年間で69作品を出版いたしました。

同社は、出版した作品を全国の公立図書館等に寄贈しており、今回も国内の図書館約3,600館と、同社の事業所近隣の保育園・幼稚園など約900園に寄贈する予定です。また、海外においても、同社の海外事業拠点周辺の日本人学校や日本語補習校に同作品を寄贈しています。第1回から寄贈した本の累計は、27万冊以上となります。

なお、今年度の「第38回　日産 童話と絵本のグランプリ」作品募集は、10月31日をもって終了しました。入賞作品の発表は、2022年3月初旬を予定しています。

●童話の概要

タイトル：『ながみちくんがわからない』

一人の少女が同級生の長道くんに興味を持ち、下校時に後ろをついて帰る物語です。リズム感のある文章で、女の子の視点から男の子の行動をユーモラスに描いています。

作者：数井 美治

千葉県在住。高崎経済大学地域政策学部で地域づくりについて学ぶ。会社員を経て、現在は子育てのかたわら、創作活動を行っている。

絵の作者：奥野 哉子

大阪府在住。ドイツのアラヌス大学芸術学部絵画科卒業。第26回、第27回、第31回、第32回日産 童話と絵本のグランプリ優秀賞受賞。第35回講談社絵本新人賞佳作受賞など、受賞歴多数。

価格：1,400円（税別）

●絵本の概要

タイトル：『マロングラッセ』

大好きなマロングラッセを買った主人公が、クマにぶつかってしまうところから話が始まります。独創的なストーリー展開と色彩鮮やかな独特の画風が特徴的です。

作者：だるま森

兵庫県在住。美術家、舞台作家、楽器作家、音楽家など、多方面で活動している。2018年に『マトモスコープ』で第９回武井武雄記念日本童画大賞絵本部門審査員特別賞、文芸社＋草思社W 出版賞銀賞ほか、受賞歴多数。

価格：1,400円（税別）

＜関連URL＞

日産のサステナビリティ ウェブサイト https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/

社会貢献の取り組み ウェブサイト http://www.nissan-global.com/JP/CITIZENSHIP/